

# ホタテガイ養殖管理情報

## 新貝の体力を回復させるためにも稚貝分散作業を優先しましょう

### 1 海況

11月6日時点の陸奥湾の中層(10~20m層)の日平均水温は全地点で20℃を下回っています(図)。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あもり(下記URL、QRコード②)をご覧ください。

### 2 餌環境

ホタテガイの餌の目安となるクロロフィルa量(水深1~20m)は、10月時点では西湾は平年並み、東湾は平年よりやや高めでした。詳しくは、ほたてナビ(下記URL、QRコード③)をご覧ください。

### 3 稚貝の状況について

10月22日から11月6日に湾内9地点で中段1段の未分散稚貝の成育状況を調査しました(表)。地点によって平均殻長やへい死率が大きくばらついています。各施設の状態(水深、錘、入れ枚数等)によって異なっている可能性があり、11月10日から13日に予定されている秋季養殖ホタテガイ実態調査でより多くの地点のデータを検証する予定です。

### 4 稚貝分散作業時の注意点

- 今年の高水温期間がかなり長く、稚貝は疲弊した状態であると考えられます。そのような場合、貝を長期間養生させてから分散作業を行うと、その後のへい死率が低くなること分っています(管理情報第6号参照)。そのため、分散作業は貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」ことを確かめてから行いましょう。
- 1段当たりの収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながるため、養殖方法に応じた適正な収容枚数(1段当たり10~20枚)を心がけて作業してください。
- 稚貝は乾燥や衝撃に弱いので、取り扱いは丁寧に、作業は手早く行いましょう。
- 流れによるぶつかり合いで、外套膜(ヒモ)が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、流れが速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、施設を浮かせずぎないようにしましょう。
- フチがまわり稚貝分散を開始できる施設はできる限り早めに終わらせるようにしましょう。

### 5 新貝の作業の注意点

現在の水温は、新貝の作業開始の目安となる20℃を下回りました。しかし、今年の高水温期間がかなり長く、新貝も疲弊した状態であると考えられ、そのような状況で新貝の作業(玉付け・籠替え・掃除)を行うと、へい死率や異常貝率が高まる可能性があります。そのため、すぐには作業を行わず、回復させる期間を設け、貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」ことを確かめてから作業を開始してください。新貝の体力を回復させるためにも、稚貝分散作業を優先しましょう。

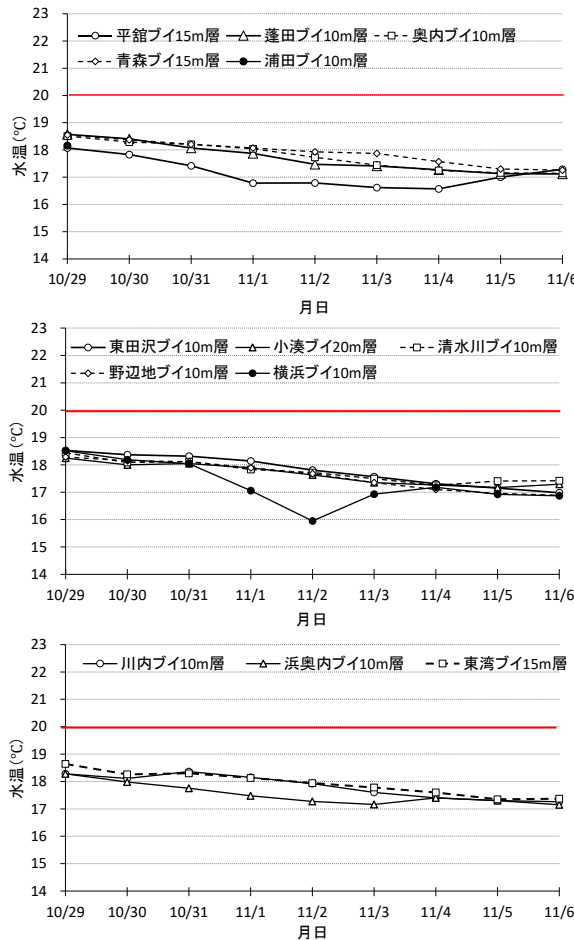


図 海況自動観測ブイ(15m層)と水温観測ブイ(10m、20m層)での日平均水温の変化

表 未分散稚貝の成育状況

調査場所	調査月日	幹網水深 (m)	稚貝採取		パールネット 目合(分)	錘	へい死 確認	夏季の 玉付け	生貝数 (枚)	死貝数 (枚)※	へい死率 (%)	異常貝率 (%)	サンカクジツボ 付着率(%)	生貝の平均殻長 (mm)	死貝の平均殻長 (mm)※
			月日	篩目合(分)											
A	10月23日	35	7月26日	2.5	2	鉛70匁	なし	なし	101	90	47.1	2.0	15.0	11.8	10.5
B	10月25日	22	7月20日	2	2	鉛50匁	10月20日	なし	0	156	100.0	—	—	—	13.2
C	10月30日	25	7月17日	2	1.5	鉛50匁	10月14日	7月30日、8月7日、10月14日	197	51	20.6	0.0	8.0	16.2	14.6
久栗坂実験漁場	11月6日	30	7月8日	2	2	コンクリ2kg	10月22日	なし	9	22	71.0	22.2	77.8	20.9	18.2
D	10月25日	30	7月21日	1.8	1.5	太枠1段	なし	なし	80	276	77.5	0.0	5.0	14.3	13.9
E	10月30日	35	7月23日	不明	1.8	鉛75匁	なし	なし	7	192	96.5	0.0	0.0	11.3	8.3
F	10月22日	33	8月3日	1.5	1.5	鉛65匁	なし	なし	2	114	98.3	0.0	0.0	7.5	7.7
G	10月31日	17	7月19日	1.8	1.5	鉛100匁	なし	なし	1	125	99.2	0.0	0.0	12.0	9.8
川内実験漁場	10月22日	23	7月25日	2.2	2	コンクリ2kg	なし	なし	26	37	58.7	0.0	23.1	12.4	10.0

※成長後の死貝

